

1997年5月20日（第970520号）

全国病児保育協議会ニュース

発行人：保坂智子

編集：全国病児保育協議会広報委員会

発行所：〒573

枚方市香里ヶ丘3丁目B67

全国病児保育協議会事務局 ☎(0720)52-0161

大阪小児医会と病児保育

全国病児保育協議会

会長 保坂智子

私の属している大阪小児科医会（会員数616名）では、平成6年1月から医会会长の諮問機関として病児保育検討委員会（委員長 小国龍也当協議会調査研究委員長）を発足させ、2年余りにわたって小児科医と病児保育のかかわり、望ましい姿について検討し、間もなく答申が出されようとしている。

大阪地区は病児保育の先進地域とされ、現在14施設を数え、医会の先生方の理解も深く、「病児保育が必要」、「関心を持っている」と答えられた先生方が85%に及んだ。特に30代～40代の先生方が積極的な賛意を示されている。

ここ数年少子化の傾向はますます深刻化し、女性の労働力率はますます高く、全国的にみても小児科医の病児保育への理解は急速にすすんでいるように思われる。

私たちも望ましい病児保育の姿を更に検討し、研鑽し、もしまだ小児科医との連携が不十分な施設ではこれを機会にあらためて近医との連携を検討され、制度（乳幼児健康支援デイサービス事業）の発展に参加してゆかれるよう願っている。

昨年来のこども未来財団よりの委託調査研究も無事終了し、4月3日、厚生省及び子ども未来財団に研究報告書を提出した。各施設あげての協力に心から感謝申し上げる。詳細は来る5月31日、6月1日の総会、研修会で報告される予定である。

第7回全国病児保育協議会総会 併催、施設長研修会 ご案内

期日：平成9年5月31日（土）・6月1日（日）

会場：オオサカ サンパレス（☎ 06-878-3804）

特集 第13回近畿ブロック学習交流会の様子

明日からの看護にとても



近畿ブロック学習交流会は、枚方病児保育室と寝屋川病気明けつくりし保育所の学習交流会が出発点です。回数を重ねる中で、他地域の施設にも参加を呼びかけ、毎年1回の学習会を重ね、今年で第13回目となりました。

今年は大阪・寝屋川市のオープンしたばかりの老人福祉施設松柏苑で2月23日(日)午前10時～午後4時の日程で行いました。参加者は10施設約50名でした。当日は午前中が消防署救急隊の方から、「小児の救急について」の講義と心肺蘇生の実技(写真参照)をしてもらいました。

午後は2つの分科会に分かれて討議・実技を行いました。第1分科会は管理・運営の分科会で「病児保育をどう地域に根づかせるか?」をテーマに討議を行いました。公的な補助を受けていても運営は大変で、共済会や支える会などの施設をたくさんの人で支える組織が必要との意見が寝屋川や枚方から出されました。「視野が広がった」、「各地の実情が聞けてよかったです」などの感想が寄せられた。厚生省にもっと施設の困難な状況を訴え、制度を一層充実したものに変えていけるようお互の施設が努力しなければいけないなどの意見も出された。

役立つ心肺蘇生法の実技

第2分科会は、普通救命講習と実技「心肺蘇生と止血」を行いました。写真の様にどの参加者も真剣そのもので、30名の参加者全員が救命講習修了書を手にすることができました。参加者からは、「人工呼吸時の呼気の吹き込み、気道確保が実際にやってみると難しかった。3分間がすごく長く感じられた。」、「実技を伴う学習会で、緊張もあったがいい経験ができ明日からの看護・保育に役立つ貴重な講習会だった。」、「時間が足りず止血については実技ができなかつたのが残念。」、「心肺蘇生の実技は、大変勉強になりました。実際その時にできるかどうかはわかりませんが、忘れないようにしたいと思います。」等実技を体験した人でないと得られない貴重な感想が多数寄せられました。

「今後枚方、寝屋川だけでなくいろいろな地域の施設が近畿ブロック病児保育学習交流会実行委員会に参加しもっと充実したものにしていけたらいいと実行委員会の方々が言っておられました。」

大阪のこのような地道な取り組みが、全国各地に波及し意欲的な研究活動がなされることを願い、広報委員会でもこの紙面を借りて各地の取り組みをどんどん紹介していきたいと思っています。

ぜひ皆様方の地域で取り組まれていることを全国病児保育協議会の事務局までおよせ下さい。またニュースに取り上げて欲しいこともお寄せ下さい。



新人の私にも言わせて

寝屋川病気明けつくし保育所
保母 中井 三貴



みなさん、はじめまして！

私は、大阪寝屋川市にある、病気明けつくし保育所に、今年2月から勤務している中井三貴と言います。

スポーツにチャレンジ

私の簡単なPRをさせて頂きます。

…私は、1967年2月19日生まれ、生糸の大坂っ子？！です。とにかく身体を動かすことが大好きでテニスやスキー、アウトドアにもよく出掛けます。

テニスだけは『参加することに意味がある』とばかりに近辺のトーナメントに出場し続けています。結果はもちろんブ～？！ですが…いつまでもそのチャレンジ精神だけは持ち続けたいと思っています！

私は短大卒業後、私立の保育園に8年勤めました。(年齢がばれてしましますが…)そこは行事がとても盛んな園で行事の度に準備に追いまくられ、職場に泊まり込んだこともあります。

楽しかったからまた行く

保母にこんなにゆとりがなくて充実した保育ができるのかとちょうど疑問を持った時期、クラスの子どもが風疹にかかり、つくし保育所を利用したのが私が病児保育を知ったきっかけです。その子は小さい時から人見知りが激しいので心配していたのです

が、後日話を聞くと「楽しかったからまた行くねん！」…そのことばを聞いて、『どんな保育をされているのかなあ』と興味を持ったと同時に、担任としての寂しさを感じたのを今でも覚えています。

最低限の保母の生活保障を

そして今では念願叶ってつくし保育所の保母として勤務させて頂いていますが、今一番頭を悩ましているのはたくさんの病気を把握すること！！…しかし何より驚いたのは、お給料がなんと！それまで民間の保育園でもらっていた半分以下！！運営資金を補うために休日返上でバザーなどの事業活動が多い上に、さまざまな団体の会議や学習会も驚くほど多さ…。共働きが当たり前になってきた今、病児保育所は絶対に欠かせない所だと思います。

病児保育の制度化と最低限の保母の生活が保障できるようにしてほしいなあと思います。

今、私は病気の子ども達の気持ちがホット安らぐ環境づくりと、看護と保育の両立をめざして毎日頑張っています！ 大阪に来られたときにはぜひつくし保育所にお立ち寄り下さい。みなさんに会っていろんなお話を聞きたいです。みなさんとお会いできるのを楽しみにしています！！